



ながす議会だより



# 潮がい

## 元気満開



金魚の館

### 令和8年第1回定例会

当初予算、条例等、補正予算

一般質問 8人が登壇し町政を問う

委員会活動

町民のひろば

②～⑧

⑨～⑰

⑱～⑲

⑳



長洲町議会ホームページ

過去の議会だよりや会議録を  
ご覧いただけます。

# 支える過去最大予算

## 会計総額 84億1700万円



### 子育て支援をサポート!

#### 新規 こどもの居場所づくり推進事業

六栄小学校、清里小学校並びに子育て支援センターにおいて、更なる健全育成を図るため、民間ノウハウを活用した委託事業として実施する。

……3465万円



#### 新規 保育補助者雇上強化事業

保育士の業務負担を軽減するため、保育業務補助者の雇用に必要な費用を補助し、保育人材の確保を図る。

……1269万円

#### 新規 子育て・新婚さんマイホーム取得サポート事業

住宅(新築・中古)を取得する子育て世帯や新婚世帯を対象に、住宅ローンに対する利子の一部を補給する。

……400万円

### 安全・安心な住民生活をサポート!

#### 新規 消防団格納庫更新事業

老朽化が進む消防団格納庫を更新し、防災拠点として維持管理を図る。(第3分団第8部、第9部等)……4834万円



#### 新規 防災行政無線更新事業

平成23年に整備した庁舎内他の防災行政無線放送機器の更新事業を行う。

……5270万円

第1回定例会（3月9日～13日）は町長から提案された議案は23件で、令和8年度各会計予算（6会計）ほか、条例の制定と一部改正、補正予算等を審議し、全て原案どおり可決した。

# 暮らしを

## 令和8年度一般

### 学校教育の振興をサポート！

#### 新規 学校給食費負担軽減事業

学校給食費保護者負担分について小学生は無償化、中学生は一定額の補助を行い、保護者の経済的支援を図る。

……5387万円



#### 新規 町内小学校屋内運動場（体育館）空調設備整備事業

児童の熱中症対策及び避難所機能を強化する目的として、町内4小学校体育館内に空調設備を整備する。

……1億5056万円

### 農業生産基盤の整備、水産資源 漁獲向上をサポート！

#### 新規 農地及び農業施設災害復旧事業

令和7年8月豪雨災害により、利用できなくなった農業用施設の復旧工事を行い、農業生産基盤の安定化を図る。

……3億7579万円



#### 新規 水産資源漁獲向上推進事業

これまでの干潟保全事業に加え、新たに水産資源の漁獲向上の推進に向けた取組みに対し補助金を交付する。

……620万円

主な質疑



令和8年度一般会計

歳

出

**問** (高濱議員)

健康福祉センター費の歳出予算額は1970万円に対し、歳入予算額は273万円である。赤字運営だが、どう財政健全化しているのか。

**答** (福祉保健介護課長)

施設開設から四十数年経過しているが、少しでも長く維持管理しながら利用者増加のための努力を行う。

**問** (林議員)

さんぎよタクシーの土曜日運行は実証事業を踏まえ、今年4月より9時～14時までの運行時間を提案されたが、16時台までの運行時間延長の要望はなかったか。

**答** (まちづくり課長)

実証事業期間中にアンケート調査を行ったが、時間延長を希望する意見も数件寄せられた。

**問** (岡本議員)

AED借上料と賃借料の違いは。また、なぜそれぞれ金額が違うのか。

**答** (総務課長)

意味の違いはない。各課での見積りや台数等の差によって、単価の相違が出ている。

**問** (福田議員)

菜切川ゴム堰2か所、揚水ポンプ制御盤1か所のそれぞれの予算の内訳と工期は。

**答** (農林水産課長)

概算の工事費で上流の葛輪井堰が約1億7485万円、下流の牟田井出堰が約1億9690万円、揚水ポンプ制御盤が50万9千円。工期は、令和8年6月から令和9年の5月末まで。揚水ポンプは、令和8年の水稲稲作から利用できる。



**問** (前田議員)

消火栓の設置等負担金440万円の内容は。また、防災面における周知は。

**答** (危機管理対策室長)

消火栓新規設置1か所、布設替1か所、修繕3か所。消火栓ボックスを消防団が設置する際、近隣住民に知らせ、区の防災消火訓練実施で周知を図っている。

**問** (福島議員)

令和7年度補正予算でフィルタリングソフト使用料が全額減額されているが、これは当初予算にあるPCウイルス対策ライセンス料に含まれているのか。

**答** (学校教育課長)

減額した使用料は生徒の旧端末用であり、新年度のライセンス料は校務用PC用なので含まれていない。

**問** (福永議員)

学校給食費負担軽減補助金について、町長は学校給食費の負担軽減を段階的に行うと選挙公約に掲げているが、最終的には完全無償化の実現が目的ではないのか。

**答** (町長)

しっかり取組んでいく自覚はあるが、いつの段階で実現できるかは現時点で答弁できない。

**問** (濱村議員)

六栄小学校校庭のケヤキの木の延命処置業務委託料について、木の状態も含めてどのような作業を予定しているのか。

**答** (生涯学習課長)

土壌改良と樹勢回復作業のほかに、枯れ枝等の剪定も行う予算を計上した。樹勢も回復している。

**問** (田成議員)

部活動指導者謝礼額が318万6千円計上されているが、1600円と1100円の2つの単価の違いは。

**答** (生涯学習課長)

部活によっては平日地域移行が可能な部活もあり、休日単価が1600円、平日は1100円で予算化した。

**問** (濱崎議員)

道路新設改良費について、用地測量調査など業務委託料が2千万円計上されているが、委託せず職員でできないのか。

**答** (建設課長)

専門的な知識や専門的な機械を使用する必要があり、専門業者に委託発注を予定している。

**問** (磯野議員)

農林水産業費の通信運搬費にタブレット通信料とタブレットMDM\*使用料が計上されているが内容は。

**答** (農林水産課長)

タブレットに農地台帳が確認できるソフトが入っている。また、MDMは常時通信接続が可能であり、現地調査でも農地の状況を確認することができる。

\*MDMとは、スマホやPCなどの業務端末を社外・遠隔から一元管理し、セキュリティ対策と運用効率化を実現する仕組み

討論

反対

林議員

高齢者を支える生活支援の予算は不十分

小学校給食費は国からの交付金により無償化されるが、中学校給食費の無償化予算は計上されていない。また、就学援助世帯に対し、新たな費目を設け生活支援の予算化が必要。

きんぎょタクシーの土曜日運行時間は午後2時台までであるが、町民のニーズに十分応えられず終日運行が求められる。子ども・子育て支援に対する予算は配慮されているものの、高齢者を支える生活支援の予算は不十分である。

賛成

松井議員

町民の生活を支える取組みが幅広く盛り込まれている

中学校制服等の購入費助成、小学校の給食無償化により、子育て世帯の負担軽減が図られている。町内小学校屋内運動場空調整備により、児童が安心して活動できる環境確保につながる。消防団格納庫更新工事費や防災行政無線設備をより高性能なものへと改修する予算も計上され、災害時の初動対応に係る体制強化が図られており、町民の生活を支える取組みが幅広く盛り込まれている。

**問** (栗原議員)  
消防団員数は減少傾向にあると答弁されたが、消防団員報酬が前年度比233万3千円増加している理由は。  
**答** (危機管理対策室長)  
令和8年度は消防操法大会があり、訓練回数が多くなるため、報酬額が増加した。



令和8年度特別会計・事業会計

介護保険特別会計

**問** (林議員)

介護保険料の今年度予算額は、前年度予算より、1068万6千円もの増額予算だが根拠は。

**答** (福祉保健介護課長)

第1段階、第4段階の低所得者層の保険料減少と、第6段階、第13段階の高所得者層の増加が見込まれるため。

国民健康保険特別会計

**問** (林議員)

国民健康保険税に、「子ども・子育て支援分」が上乘せし徴収することになる。さらに、令和9年度、令和10年度も段階的に引き上げると、こども家庭庁では、説明しているが、1人当たりの年間平均支援額はいくらか。

**答** (福祉保健介護課長)

令和8年度は2700円の上乗せ、令和9年度は3600円、令和10年度は4800円程度の上乗せが見込まれる。

下水道事業会計

**問** (福永議員)

令和7年度、流動資産の未収金貸倒引当金が18万9千円計上され、令和8年度分として、新たに、7万4千円が計上されているが会計処理はどうなるのか。

**答** (下水道課長)

令和7年度末に、不納欠損分として21件、18万9千円を処理し、令和8年度分、11件、7万4千円を不納欠損予定分として新たに計上した。

令和8年度特別会計・事業会計予算

国民健康保険特別会計	19億5670万円	
介護保険特別会計	18億6100万円	
後期高齢者医療特別会計	3億6990万円	
水道事業会計	収益的支出	2億3915万円
	資本的支出	4億4048万円
下水道事業会計	収益的支出	8億2563万円
	資本的支出	7億6412万円

## 討論

## 国民健康保険特別会計

## 反対

林議員

## 子ども・子育て支援の政策財源を国保税に上乗せ徴収することは筋違い

今年4月より、国保税に上乗せし、子ども・子育て支援分を徴収することになり、1人当たりの年間平均保険料は、約2700円増税となる。

国保税は協会けんぽや共済組合保険の被用者保険とは異なり、全額自己負担である。そもそも公的医療保険とは無関係な子育て支援の為の政策財源を、何故、国保税に上乗せ徴収するのか、筋違いであり、国庫負担で行うべきである。

## 賛成

田成議員

## 安定した国民健康保険事業の運営に期待する

新たな「子ども子育て支援金制度」を含め安定的な運営となるよう努めている。また町民の健康増進に向け、特定検診などの保健事業に取組み、受診率を高め、結果説明や保健指導を通じた保健師や管理栄養士による生活習慣病改善のアドバイスを行っており、被保険者に寄り添った取組みが医療費の適正化を進め、安定した国民健康保険事業の運営になるものと期待する。

## 介護保険特別会計

## 反対

林議員

## 国庫負担割合を引き上げ介護保険制度の充実をすべきだ

介護保険財政を維持するための保険料は、増加の一方であるが、65歳以上の第一号被保険者の多くは年金生活者であり生活は厳しい。介護保険サービスを利用すると、経済的負担が重くのしかかり、満足に利用できない介護難民と呼ばれる社会現象まで起きている。誰もが安心して介護保険サービスを利用できるように国庫負担割合を引き上げ、制度の充実を図るべきである。

## 賛成

岡本議員

## 予防活動の取組みにより要介護認定率は低水準で推移している

「介護予防拠点施設」で様々な予防活動に取組んできたことにより、要介護認定率は全国的にも低水準で推移し、介護給付費の抑制、介護保険料の据え置きに繋がっている。今後も高齢者が安全・安心・健康に暮らせるまちなに向けた取組みの推進と、元気で活躍できる健康長寿社会の実現を図られることを期待する。

## 後期高齢者医療特別会計

## 反対

林議員

## 老人保健制度にもどすべきである

1人当たりの年間平均保険料は、令和7年度と比較し、令和8年度は一挙に1万2732円の増額となる。団塊の世代がこの制度に繰り込まれ、75歳以上の高齢者を一つの制度にまとめ、高齢者人口が増える度に、加入者の負担を増加させる仕組みがもたらす弊害は重大であり、かつて制度化されていた老人保健制度に戻すべきである。

## 賛成

福島議員

## 2年ごとの保険料率の改定や「子ども・子育て支援金制度」導入を踏まえた適切なものである

保険者数や医療費が増加する中、この医療制度を将来にわたり安定的に運営していくためには、世代間における負担公平の確保、被保険者の負担能力に応じた負担、及び医療費の伸びの適正化を行うことが必要。そのような中、この予算案は2年ごとの保険料率の改定や「子ども・子育て支援金制度」導入を踏まえた適切なものである。

条 例

長洲町ふるさと納税応分型事業  
所設置奨励金条例

●町内に事業所の新設等をし、返  
礼品の開發・提供を行う事業者に  
対して奨励金制度を創設する。

長洲町地区計画の区域内におけ  
る建築物の制限に関する条例

●長洲駅南側地区は、都市計画マ  
スタープランにおいて「中心拠点」  
に位置付けられている。「用途地  
域」の指定と「地区計画」の策定  
を進めていて用途地域だけで抑制  
しきれない。無秩序な開發や調和  
しない施設の立地を防ぎ、法的拘  
束力を持たせる。

長洲町乳児等通園支援事業の設  
備及び運営に関する基準を定め  
る条例

●乳児等通園支援事業の新設に伴  
い、事業を実施する事業者を「認  
可」するための基準である。

問 (林議員)

一般型乳幼児通園支援事業所  
と余裕活用型乳幼児通園支援事業  
所の2つの実施方式がある。

この新規事業の認可を受けるに  
あたり、どちらの事業所が認可を  
受けやすいのか。

(子育て支援課長)

●答 一般型は、新たに専任の職員  
の配置が必要だが、余裕活用型は  
既存の保育定員の空き定員の範囲  
内で受け入れ可能なため、新たな  
体制の確保が不要であり、余裕活  
用型が認可を受けやすい。

長洲町特定乳児等通園支援事業  
の設備及び運営に関する基準を  
定める条例

●長洲町乳児等通園支援事業の設  
備及び運営に関する基準を定める  
条例の創設に伴い、事業者が守る  
べき運営上の基準について条例で  
定める。

職員等の旅費に関する条例

●本町の職員及び職員以外の者に  
対して支給する旅費の取扱いを見  
直すものである。

課設置条例

●効率的な組織体制を確立するた  
め下水道課と水道課を統合し、上  
下水道課を設置。また、町民サー  
ビスを確実に維持・向上させるた  
め、福祉保健介護課を福祉介護課  
と健康づくり課へ分割する。

報酬及び費用弁償条例

●農業委員会委員等の報酬につい  
て、報酬等審議会の答申を踏まえ  
た見直しを行うもの。

長洲町税条例

●本町の軽自動車税の減免基準を  
県の自動車税種別割の減免基準に  
あわせ整合性を図ると共に、障が  
い者の社会参加の推進に取組む。

財産の減額譲渡

●六栄保育所跡地を町の伝統的な  
経済活性化及び産業振興を図るた  
め、減額して譲渡するもの。

譲渡する土地及び建物

減額譲渡価格  
501万9千円  
譲渡の相手方  
株式会社 ローカル

工事請負契約

●工事名  
赤田・上沖洲線道路改良  
(5工区) 工事  
契約金額  
1億6610万円  
契約の相手方  
興亜建設工業株式会社

工事名

六栄小学校東校舎解体及び  
渡り廊下新設工事  
契約金額  
9768万円  
契約の相手方  
興亜建設工業株式会社

興亜建設工業株式会社

問 (福永議員)

六栄小学校東校舎解体及び渡  
り廊下新設工事は、それぞれい  
くらか。

また、解体と新設を一括発注で  
はなく分離発注してはどうか。

答 (学校教育課長)

解体費が約3200万円、渡  
り廊下新設費は約6700万円、  
計約1億円。工事発注の優先事項  
として、まず学校現場行事、スケ  
ジュール等への影響がないこと。  
次に、コスト面も考慮し一括発注  
とした。

## 令和7年度一般会計補正予算

### 2億226万円を追加し 総額98億1813万円

主な事業	橋梁長寿命化修繕事業	1680万円
	長洲港土砂処分場整備事業負担金	3000万円
	町営住宅管理事業（新山住宅）	6300万円

**問** (林議員)

長洲港土砂処分場整備事業負担金として、県事業費の10分の1である3千万円を本町が負担する漁業補償額が突如として提案され、「漁協から具体的に補償額の要請があったわけではない」と答弁されたが、県は何か所の漁協と協議を行っているのか。

**答** (建設課長)

現在、補償の協議中であり、個別案件であるので答弁は差し控える。

**問** (田成議員)

空き家等除去事業補助金が320万円減額になっているが、この理由は。

**答** (まちづくり課長)

当初12件程度を見込んでいたが、実績は6件で、その減額分である。

**問** (林議員)

就学援助支給費目は、実費分を含め全部で6項目あるが、補正予算109万4千円の追加分は、新たに追加された費目によるものか。

**答** (学校教育課長)

追加費目はないが、支給額は学年で変動があり、追加分は、新

入学児童生徒学用品費や、修学旅行費の対象となる児童生徒が多いため。

**問** (福永議員)

75歳以上の後期高齢者の保険料が増加している。当初予算時より後期高齢者は何名増えたのか。

**答** (福祉保健介護課長)

当初予算では被保険者数を3011人と見込んでいたが、今回は3149人と見込み、138人の増加である。

### 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計	67万円
介護保険特別会計	5900万円
後期高齢者医療特別会計	1697万円

### 審議結果 <<すべて原案可決>>

賛成…○ 反対…×

議案番号	事 件 名	高濱	福島	岡本	栗原	田成	林	福田	前田	磯野	濱村	福永	松井	濱崎	福本
議案第25号	令和8年度長洲町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	
議案第26号	令和8年度長洲町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第27号	令和8年度長洲町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	令和8年度長洲町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

この審議結果は、賛否の分かれたもののみ掲載しています。\*議長は表決に加わりません。

## 町政を問う 一般質問

一般質問では、議員が町に対して、町政全般にわたって施策を問います。  
3月定例会では8人の議員が登壇し、一般質問を行った。  
議会だよりでは、質問と答弁の要旨をまとめており、全文記録（会議録）は町ホームページに随時掲載している。

### 一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
持続可能な行財政運営について	福島 賢	10
高齢者福祉の現状と充実について	岡本 香奈	11
乳児期から高齢者までの口腔ケア支援の推進について		
役場窓口の受付時間短縮と住民サービスのあり方について	栗原 賢尚	12
職員をカスハラから守り、適正な行政運営を確保する体制整備について		
保育料について	林 敏哉	13
不登校の現状と対策について	前田美和子	14
多世代交流施設にじいろはうす内における事故について	磯野 博	15
教育施設内への防犯カメラ設置について		
浦川導水路等、線状降水帯による防災対策はできたか	濱崎 久	16
金魚と鯉の郷広場の植木の管理について		
P F A S 対策について		
ボランティア活動への助成について	高濱 克洋	17
シニア世代とスポットワーク希望者に対する就労支援について		
詐欺電話被害防止のための取組みについて		
金魚と鯉の郷広場の活用について		
くまなびの日の導入について		

公共施設のコスト管理体制を  
いかに構築するのか

ふくしま  
福島  
すくる  
賢  
議員



**答** 全施設をデータ化し公共施設総合  
管理計画等をガイドラインとする



持続可能な行財政運営の実現を訴える

**公** 公共施設の維持管理に関わるラ  
ンニングコスト増大が見込ま  
れる中、現在の費用算定の状況と  
収集のためのガイドラインについ  
て問う。

**答** (町長)

全施設をデータ化し、現在の  
維持管理費用を算定している。公  
共施設総合管理計画等の実施方針  
を一つのガイドラインとして位置  
づけ、持続可能な管理に努める。

**問** 入力ミスのリスクやリアルタ  
イムに反映し、現在のエクセ  
ル管理から、全庁で一元化され  
たシステムとしてのデータベー  
スへ早期移行すべき時期と考  
えるがどうか。

**答** (総務課長)

データベースの高度化や物価  
変動に対応できる実務的な仕組  
みづくりについては、今後の運用改  
善の中で前向きに検討したい。

**問** 財政の硬直化を防ぐため「ス  
クラップ・アンド・ビルド」  
の原則をルール化し、予算編成方  
針へ反映すべきではないか。

**答** (総務課長)

編成方針に同様な考え方は反  
映しており、効果検証に基づき実  
際に事業の統合や廃止を行って  
いる。今後も財政規律を堅持し持  
続可能な運営に努める。

施設の収益を推進するには

推進委員会等で  
官民連携により築く

**問** 公共施設の更新時、官民連  
携を活用し自ら収益を目指す  
「稼ぐ公共施設」への転換を  
検討すべきだ。具体的見通しに  
加え、民間との信頼構築や町  
民・議会への丁寧な説明による  
合意形成の考えは。

**答** (町長)

民間の創意工夫を取り入れる  
視点は極めて重要だ。推進委員  
会等で官民連携を検討項目に  
位置づけ、調査の積極的な実  
施を含め、稼ぐ施設への転換  
に向け前向きに取り組んでい  
く。



官民連携を活用した長洲駅南口駐車場

**答** (総務課長)

老朽施設等の更新時に可能  
性を検討する。信頼構築や住  
民・議員の理解も不可欠であ  
る。適宜情報共有を行い、意  
見を丁寧に向いながら透明  
性を持って進める。

**問** 施設の設計前に民間から  
アイデアを募るサウンディング  
型調査の実施や、検討委員  
会等の組織を横断的に活用し  
、収益化に向けた実効性ある  
仕組みづくりを推進すべき  
だが。

**答** (町長)

民間の創意工夫を取り入れる  
視点は極めて重要だ。推進委員  
会等で官民連携を検討項目に  
位置づけ、調査の積極的な実  
施を含め、稼ぐ施設への転換  
に向け前向きに取り組んでい  
く。



おかもと かな  
岡本 香奈  
議員

## 高齢化を見据えた介護予防・見守り体制強化の今後の取組みは

### 答 高齢者が生きがいを持った 予防活動を進めていく

**急** 速に高齢化が進む中で、介護予防や見守り体制を強化した支援が重要だが、今後どのような方向性で高齢者福祉を進めていくか伺う。

**答** (町長)

介護予防活動の更なる活性化を図り、高齢者が生きがいを持って予防活動に参加できるための仕組みや、認知症高齢者への見守り体制の充実を図り、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりを進めていく。

**問** 介護予防拠点施設での元気あっぷ体操教室や、脳トレなどの介護予防事業の今後の取組みは。

**答** (福祉保健介護課長)

新たな取組みとして、活動に参加する方や支援する方に、電子マネーや物品と交換できる介護予防ポイントを付与する事業の予算を計上している。

**問** 全国的にも増えている行方不明者対策や見守りネットワークの強化の取組みは。

**答** (福祉保健介護課長)

高齢者見守り情報の登録、認知症サポーター養成講座等、町公式LINEでの情報配信を実施している。また行方不明のおそれがある認知症高齢者の見守り支援として、QRコード付きシールを配布し、早期保護を図るための予算を計上している。

**問** 警察との情報連携は。

**答** (福祉保健介護課長)

家族からの高齢者見守り情報登録の申請時に顔写真や特徴などを記載した情報シートを荒尾警察署と共有している。

### 年代に応じた口腔ケア支援を

生涯にわたり健康な口腔  
保持促進に取組む

**問** 乳児期から高齢者までの年代に応じた口腔ケア支援の取組みを伺う。

**答** (町長)

母子健康手帳交付時の歯科指導並びに妊婦歯周疾患検診の実施、乳幼児健診での歯科検診、乳



乳児期から目指せ一生むし歯ゼロ

幼児期のフッ化物塗布、学童期のフッ化物洗口等を行っている。成人期は、20歳から70歳までの節目年齢歯周疾患検診。また介護予防拠点では、口腔機能測定や個別指導、オーラルフレイル予防講話を実施している。生涯にわたり健康な口腔状態を保つため、引き続き口腔の健康保持促進に取組んでいく。

**問** 成人の歯科検診率向上に対する企業等の連携は。

**答** (福祉保健介護課長)

企業に呼びかけ健康増進事業実施者会議を開催し、町独自の無料検診制度の周知を図り歯科検診の重要性や受診しやすい環境づくりに取組んで行く。

現時点での窓口受付時間短縮の検討状況は

くりはら けんしやう  
栗原 賢尚  
議員



**答** 町民の不利益にならないよう意見聴取を行い、見極めていく



長洲町役場窓口

荒尾市では4月より窓口受付が9時～16時に変更された

**窓** 口受付時間を短縮した場合の行政側のメリットとデメリットは、どう考えるか。

**答** (総務課長)

メリットとして、職員の時を外勤務の減少、施設運営コストの削減。デメリットとして、利用者の不便さ、混乱からのクレーム等が考えられる。

**問** 同様に、町民から見た場合のメリットとデメリットは、どう考えるか。

**答** (総務課長)

メリットとして、手続の簡素化、職員対応の質の向上、丁寧で正確なサービス提供。デメリットは、利用可能時間減により、来庁しにくくなる等が考えられる。

**問** 住民票や印鑑証明書のコンビニ二交付サービスを開始して1年経った。利用状況は。

**答** (住民環境課長)

住民票の交付総数が4992件のうち、コンビニ交付は21.5%。印鑑証明書では3248件のうち、コンビニ交付は26.4%である。

**問** 現時点での窓口受付時間短縮の検討状況は。

**答** (総務課長)

諸々の状況を考慮しても、直ちに受付時間の短縮はできない。町民の不利益にならないよう、意見を聴取しつつ、タイミングを見極めていく。

カスタマーハラズメント (カスハラ) の被害実態は

現在、被害の申出はなく、被害実態はないと考える

**問** 現場の担当者一人に抱え込まハラに対応するため、不当要求対応マニュアルやカスハラ対策指針等は現在策定されているか。



自治体職員の35%が過去3年間にカスハラを受けた経験がある (総務省)

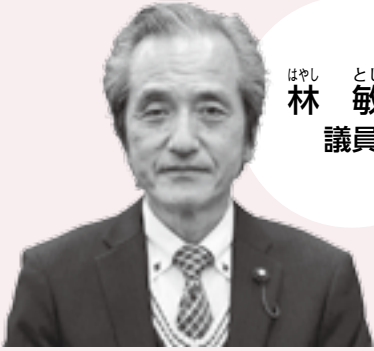
**答** (総務課長) カスハラ対策指針、マニュアルの作成は今検討を始めている段階。不当要求に関しても、対応マニュアルは未策定である。

**問** 庁舎内の安全確保のため、録音、録画の実施や警察との連携体制はどうなっているか。

**答** (総務課長)

録音に関しては、証拠等を記録するため必要であり、電話での録音機能を追加する予定。警察との連携は、今後どのような連携が取れるか検討していく。

**結び** 町の主役は町民の皆様である。町民はお客様ではなく、共に行政を創るパートナーであると考え



はやし としや  
林 敏哉  
議員

保育料の完全無償化、もしくは一部助成を求める

**答** 様々な状況を踏まえて検討していく

**本** 町には、子ども・子育て支援法に定める教育・保育施設として、1カ所の保育園と、2カ所の認定こども園がある。保護者の支払う保育料は、兄弟で、0歳～2歳の場合、第1子は満額、第2子は半額、3歳～5歳児の第1子は無料、0歳～2歳児の第2子は該当保育料の半額であるが、無条件に第2子は半額になるのか。

**答** (子育て支援課長) 同時に2人以上の入所児童がいる場合、半額になる。

**問** では第1子が卒園し、小学校に進学した場合、同時に2人以上の入所児童に該当しなくなるが、この場合、0～2歳児の第2子の保育料は半額から満額になるのか。

**答** (子育て支援課長) 保育料は半額から満額になる。

**問** では第1子はすでに卒園し、小学校に通っており、第2子が2歳で入所してきた場合も同じように、同時に2人以上の入所児童には該当しないが、第2子の保育料は半額にはならず、入所時から満額の支払いが必要になるのか。

**答** (子育て支援課長) 保育料は入所時から満額負担になる。

**問** 子育て世帯の負担軽減を考慮するのであれば、第1子が小学校に通っている場合も、第1子としてカウントし、第2子の保育料は半額にすべきではないか。この制度を見直したのが大牟田市である。次に第1子、第2子を含め完全無償化に必要な予算、また第2子以降無償化に必要な予算はいくらになるか。

**答** (子育て支援課長) 完全無償化に必要な予算は年間約3600万円、第2子以降無償化に必要な予算は924万円である。

**問** 和水町は完全無償化、荒尾市は第2子以降の無償化、南関町は償還払いとし半額の助成を行っている。保育料の無償化は子育て世帯の経済的負担を大きく解消し、安心して子どもを産み育てる環境を整えることに直結する。

**答** (町長) 段階的に行うのか、完全無償化とするのか、様々な状況を踏まえて検討していく。



急がれる保育料の無償化

保育料の無償化、もしくは、一部助成について制度の創設を求める。

**答** (町長) 段階的に行うのか、完全無償化とするのか、様々な状況を踏まえて検討していく。

町政を問う

不登校の子どものSOSに  
どのように向き合うのか

まえだ みわこ  
前田美和子  
議員



**答**

学校、家庭、SC、SSW、はぐくみ館、ほっとスペースウィング等関係機関と連携を図る



自分の居場所をさがそう

**文** 部科学省の調査では、2025年発表された、国公私立の小中学校で年間30日以上欠席した不登校の児童生徒は、35万人を超え過去最高となった。  
学校に行きたくないという子どものSOSにどう向きあうかが喫緊の課題であるが対策は。

**答** (教育長) 休みがちな児童生徒には、担任、学年主任、管理職も一緒に組織で子どもや保護者に寄り添い最善策を考えている。家庭内の課題等は、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、子育て支援課などの関係機関と連携を図り支援している。学校に行けない児童生徒には、教育支援センターほっとスペースウィングを紹介し学校復帰の支援を行っている。

町政を問う

**問** 今年の不登校児童生徒数は。

**答** (教育長)

今年1月現在小学生12人、中学生16人計28人と増加している。

**問** 要因をどのように捉えているか。

**答** (学校教育課長)

児童生徒間や教職員との関係、家庭内、学校に対する価値観や社会情勢の変化等様々である。

**問** フリースクールについての考えは。

**答** (学校教育課長)

学校への登校が一番だが、社会とのつながり、居場所の確保、活動体験の場である。

**問** 学校外教育支援センターのほっとスペースウィングの今年度の利用状況は。

**答** (学校教育課長)

4月から2月まで小学生8人、中学生12人計20人が利用している。

**問** 長洲中校内には、登校はするが教室に入れない生徒の居場所、燦たりルームがあるが、職員

の配置はあるのか。

一人で悩まないで、  
まずは相談を！

こども家庭  
センター  
「はぐくみ館」↓



**答** (学校教育課長)

配置はしていない。時間が空いている先生で対応しているが、今後は、ほっとスペースウィングの支援員を一名増員し燦たりルームに常駐させ、支援を行っていく。

**問** 保護者の様々な悩み相談窓口としてこども家庭センターは

はぐくみ館がある。関係機関との連携は。

**答** (子育て支援課長)

内容により学校、SSW、ほっとスペースウィング等、対応を共有し連携し取組んでいる。

**結び** 文部科学省は、不登校対策として校内支援センター設立をすすめている。燦たり

ルームが今後充実し生徒達の居場所となり、更に児童生徒にあった支援の取組みができることを期待する。



いその 磯野 ひろし  
議員

議会で情報共有出来てなく問題ではないか

**答** 報告の行き違い等もあり  
申し訳ございませんでした



多世代交流施設 にじいるはうす

情報共有の公平性や透明性の観点から適切であったのか、疑問が残る

**多** 世代交流施設にじいるはうす内における事故の議会への報告が行われていないが。

**答** (町長)

こどものけがの状況や保護者からの申出等を鑑みて、正式な報告は行っていない。

**問** 報告を受けている議員と受けていない議員がいる。議員間での情報の隔たりは何か。電話で正式に報告をしたのか。

**答** (子育て支援課長)

町長の判断において所管委員会である総務保健福祉常任委員会  
の委員には報告し伝えているが、議会に対しての正式な報告は行っていない。

**問** 議会は代表機関で、二元代表制だ。何らかの事件があったら報告する必要があるのではないか。なおかつ正式な報告ではなく電話で報告を受けた議員と、そうでない議員がいるが。

**答** (町長)

今回の件については総合的に判断し、議会に正式な報告はしないと判断したものである。

**問** 電話での報告の内容を私たちが聞いてない。所管の委員会だけで終わらせていいのか。全議員に報告する必要があるのではないか。

**答** (子育て支援課長)

所管委員会のみ報告となり大変申し訳ありませんでした。

**問** 所管の委員会への報告は、公的に行っているのか。それは、課長の判断か。

**答** (子育て支援課長)

**問** 町長の判断により、議会が情報を共有できていないことはいかなるものか。内規や、庁内の報告ルール、議会への報告への基準等考えてはどうか。



長洲町役場

議会への報告の基準を考えては

**答** (総務課長)

子育て支援課長の情報等の出し方の行き違い等もあり、申し訳ございませんでした。どこまで議会に報告するかなどの基準を明確にルール化ができればと思う。一部の議員だけではなく、全議員に行き渡るように、ルール化をして、今後、適宜適切な形で報告できるように努めていく。

町政を問う

浦川導水路の災害対策はできたか

はまき びし  
濱崎 久  
議員



答 排水機場の機能向上を図る

**線** 状降水帯による防災対策はできたか。

**答** (町長) 発生が予想される場合には、事前に地元水利組合に協力を求め、農業用の堰を倒して貯水能力を高め、排水機場を速やかに運転する。

**問** 8月の大雨は、農地や道路が冠水し大きな被害が発生した。今後は未然に防ぐとあるが、説明を求める。

**答** (町長) 排水機場の保守点検を適切に行い導水路の貯水能力の確保に努め機場の速やかな運転で線状降水帯発生による被害を抑える。

**問** 町が管理する浦川導水路について、浸水被害の発生を抑制するため排水ポンプ設置研究推進事業を行い水路の機能向上を図ってはどうか。

**答** (町長) 現在の排水機場を降雨の状況に応じてしっかり運用し、機能向上を図る。

**問** 金魚と鯉の郷広場の植木管理状況は

スケジュールに沿って対応

**問** 玉名の山田の藤を研修してはどうかと指摘した結果、効果が表れ今年の開花が待たれるようになった。藤棚はどうか。

**答** (町長) 経年劣化していたが指摘を受け対応した。

**問** ボランティア活動も検討すると答弁されたがしたのか。

**答** 総合的に検討した結果難しいと判断している。

**PFAS**※対策を進めよ  
迅速確認を行う

**問** TSMC・台湾積体回路製造工場が熊本県に進出後PFASの濃度上昇が確認された。工場稼働との因果関係も指摘される。上下水道課の対応はどうか。

**答** (町長) 8年度から町の検査を強化し結果を注視する。

**問** 町が汚染される前に被害のない町づくりはできないか。

**答** (水道課長) 近隣地域の河川や地下水が、本町の地下水に影響があるかどうかということも踏まえると、これを詳細に把握することは難しいと言われている。

**問** 和水町は浄水器の設置費用を全額補助すると報道された。PFASはどのくらい浄化できるのか。

**答** (住民環境課長) 把握していない。

**問** 防災上研究するため県の情報を収集すると言いつながら、報道後も調査していなければ答弁にならない。

**答** (町長) そうした気配りは大事なことです。迅速確認を行う。しっかり対応させる。

※PFASは「有機フッ素化合物」の総称で、水や油をはじく熱に強い等の特性を持ち、環境中でほとんど分解されず人体や環境への影響が懸念されている物質群



たかはま かつひろ  
高濱 克洋  
議員

金魚と鯉の郷広場を町のPRのために、より有効活用すべきだが

**答** 閉園時間はニーズを踏まえ検討、カフェテリアの活用は事業者と協議が必要である

**地** 域の方が自費で高額機材を購入しボランティア活動を行っている。活動支援をすべきではないか。

**答** (建設課長) 各自自治体や県道・国道における支援制度を参考にし、まずは町道や公園の管理のためのボランティア支援を行う。

町民の働きたいというニーズにどう応えるか

ニーズの多寡を承知していない

**問** シルバー人材センターの説明会に来る就労希望者の七割がマッチング不成立。ハローワーク勤務経験者によると、年齢不問の求人でも年齢がネックで採用を見送るケースが多い。町の高齢者福祉計画には「幅広い就労機会の確保に取組む」とあるが、どう取組むのか。

**答** (福祉保険介護課長) 高齢者就労の相談があれば、ハローワークやシルバー人材センターにつなぐ。

**問** ある自治体では、社協とシルバー人材センターが統合して全世代型の就労・活躍支援事業をスタートさせた。町には企業連絡協議会等関連団体もあるが、地域内就労マッチングの仕組み導入を検討すべきではないか。

**答** (まちづくり課長) 現時点では新たな就労支援の仕組みを検討する予定はない。

自動通話録音機などの購入を補助しては

町民の要望もなく、効果も不明である

**問** 特殊詐欺の被害額は過去最悪。被害者の59%が65歳以上で最初に用いられる約8割が電話である。熊本県警も自動通話録音機などの設置を推奨している。購入補助制度を導入すべきではないか。

**答** (町長) 町では被害がなく、町民の要望もない。効果不明のため実施する計画はない。

金魚と鯉の郷広場の更なる有効活用は

周知に努める

**問** 安全対策を講じたうえで、閉園時間の延長や常時開放を検討できないか。

**答** (まちづくり課長) 来場者のニーズを踏まえ、検討する。

**問** 広場内のカフェテリアの年間貸付料は10万7千円であるが、町のPRのために施設の一部を更に活用すべきではないか。

**答** (まちづくり課長) 事業者と協議は必要だが、共にPRに取組むことは可能である。

「くまなびの目」導入について

**問** 教育委員会でも検討する。本制度は、平日に保護者同伴で体験学習を行った場合、欠席でなく出席停止・忌引扱いとするもの。保護者からのニーズがあるので導入すべきではないか。

**答** (学校教育課長) 他市町村等のニーズや問題点などを踏まえ、検討する。

## 委員会活動

## 建設経済文教常任委員会研修報告

研修日：令和8年2月2日（月）～2月3日（火）

研修先：鹿児島県大崎町

（人口11,800人、面積100.67km<sup>2</sup>）

## 視察目的

本町における農地・耕作放棄地の状況は、農地全体756haに対して、54.9haであり、農地全体に占める割合の約7.3%となっている。

要因としては、農業従事者の高齢化や減少、農業用機械が入らない、農業用水が確保できないなどの耕作条件や作業環境が厳しい状況があげられる。

そこで、耕作放棄地を活用し、新しい特産物や事業の仕組みづくりを行っている鹿児島県大崎町において視察研修を実施した。



## 視察内容

大崎町は喫緊の課題である「耕作放棄地の解消」に向け、耕作放棄地の抑制、農地の保全、再生を目指し、比較的手のかからない作物で新たな収入源となり、農地を守り続ける仕組み作りを行っている。

大崎町に適した作物として実証栽培を行っている「山椒」と「マコモダケ」の現地を視察した。

山椒については、大崎町の特産物のうなぎやちりめんとの相性が良く、ふるさと納税等で付加価値を狙い、3～5年後の本格的な収穫を目指している。

また、マコモダケについては、葉を活用したお茶やしめ縄、お香を開発中であり、いずれも農家と福祉事業所等による農福連携や農業公社との連携体制を構築中である。



どうする耕作放棄地！

## まとめ

本町においても耕作放棄地解消の取組みは喫緊の課題である。風土や気候にあった作物で作業負担が少なく、新たな収入源となるような仕組みづくり等を考えて行く必要がある。

委員会活動

総務保健福祉常任委員会研修報告

研修日：令和8年1月27日（火）～28日（水）  
研修先：長崎県佐々町  
（人口13,830人、面積32.27km<sup>2</sup>）

視察目的

本町においても子育て支援や高齢者支援は実施されているが、昨年8月に「にじいろはうす」がリニューアルオープンし、多世代の交流や支援の拠点としての活用が期待されている。



今後は、子育て支援や高齢者支援にとどまらず、健康づくり支援やひきこもり支援など、多岐にわたる分野で施設機能の充実が求められる。

このため、先進的な取組みを行っている佐々町において視察研修を実施した。

視察内容

佐々町にある「佐々町総合福祉センター」を訪問し、実施されている支援内容および町全体の取組みについて説明を受けた。同町では多世代包括支援センターを設置し、子どもから高齢者、障がいのある方まで、対象を限定しない支援体制を構築している。

さらに、ひきこもり支援やボランティア活動、生活困窮者支援など幅広い分野に対応し、「多世代包括ケア」を推進している。

また、従来の縦割り型の組織体制から、分野横断的な支援体制へと移行している点も特徴的であった。

まとめ

地域ネットワークを活かした情報交換や、地域住民と一体となって活動する職員体制は非常に優れていると感じた。高齢者ボランティアの体操など多様な住民主体活動が展開され、障がい者支援も地域で支える仕組みが整っていた。

日常的な交流により、課題の早期把握が可能となることから、行政・社会福祉協議会・包括支援センターの連携強化が本町でも重要であると受け止めた。



# 町民のひろば

## 地域レポート



### 赤崎城跡地で「若宮さん祭り」(赤崎区)

赤崎城は古城公園東の小高い丘に位置し、鎌倉時代初期に肥後国守護の中原親能なかはらのちかよしの命で赤崎城が築かれたと伝えられている。当時は海に囲まれており、番城砦であったらしいが戦国時代初期に攻落され城跡のみが残っている。

地域の人々は古くから「ふっじょさん」と呼び親しんでおり、この場所で毎年4月25日に赤崎区保存会が水神様の若宮さん祭りを行っている。鎮魂、五穀豊穰、安泰を願い続けてきたが、なお一層区民の絆が深まるような工夫をしている祭りである。

## 傍聴席から



### 坂田 耕治さん・陽子さん(宝町区)

宝町区で生まれ育ち歳を重ね、時代と風景が変化していく中で、長洲町の住みよさを感じながら生活しています。今回、初めて議会を傍聴しましたが、新町長と新議員の方々が町のために努力している姿を見ました。質問や質疑と明確に真剣に取り組まれており、議会の内容の深さと頑張りを感じ、エールを送りたいです。町が更に発展することを願い、微力ですができることがあれば協力していきたいと思います。

## ひらひら

新緑が眩しい季節、長洲町にも新しいエネルギーが満ちています。

今議会では暮らしを支える「4つの支援」を中心に、未来への一歩となる予算が数多く審議されました。

複雑な議案を整理し、皆様へ分かりやすく届けることは議員の大切な役割です。

デジタル技術を賢く活かしつつ、現場の声を政策に繋げることで、芽吹いたばかりの希望が大きな花を咲かせるよう、日々是好日の心で取り組みます。  
(福島)

## 表紙について

雲ひとつない青空の下、金魚と鯉の郷広場の豊かな自然の中で、元氣いっぱい手に振る子どもたちの弾ける笑顔に偶然出会いました。長洲町の明るい活気と未来への希望が真っ直ぐに伝わってきて、心が温まります。

皆さん傍聴に来てみらんわ!

次の定例会は  
**6月15日(月)**  
開会の予定です

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

※日程や一般質問の内容等は、町ホームページでお知らせします。

### 広報広聴調査特別委員会

- 委員長 前田美和子
- 副委員長 岡本 香奈
- 委員 高濱 克洋
- 委員 福島 賢
- 委員 栗原 賢尚
- 委員 林 敏哉
- 委員 福田 史治

### 長洲町議会個人情報保護条例の実施状況

令和5年4月1日に制定した本条例の施行状況については、毎年度概要を公表することとしています。  
令和7年度は、議会が保有する個人情報について開示請求等はありませんでした。

「ながす議会だより 潮さい」は

長洲町議会   でもご覧になれます。